総合教育センターだより

街路樹

発行　第　59　号

平成２４年　１月２７日（金）

いわき市総合教育センター

いわき市平字堂根町１－４

０２４６（２２）３７０５

これからの学校教育に求められる コミュニケーション能力の育成

21世紀は、「知識基盤社会」であり、新しい知識や情報、技術が政治・経済・文化をはじめとする全ての面で重要性が増す時代といわれています。このような時代に生きていく子どもたちには、これまでの価値に縛られたり、とどまったりすることなく、時代 が求める学力の育成を図っていかなくてはなりません。

このような時代状況が求める学力として、経済協力開発機構(OECD)が提唱する「主要能力(キーコンピテンシー)」のカテゴリーのひとつ「多様な社会グループにおける人間関係形成能力」において、コミュニケーション能力の重要性が見てとれます。

コミュニケーション能力は、日本経済団体連合会「新卒採用 に関するアンケート調査」(平成22年4月)において、企業が学生を採用するにあたって重視する能力として、7年連続で第1 位にあげています。

コミュニケーションそのものは、活動です。これを実社会・実生活に生きる能力としてどう育成を図るかが課題となります。

これまで日本の学校教育において主として求められた学力 は、知識の取得と再生でした。それは、いわゆる受験学力を学力としてきたことにも見てとることができます。

21世紀に生きる子どもたちには、これからの世界に通用しない旧態依然とした暗記中心とする受験学力の育成を図ることからの転換が求められています。

今日の日本の学校教育に求められている学力は、思考力・判断力・表現力であります。この学力は、他者との関わり合いなしに育成することはできません。そこに、各学校における教室の中での言語活動の充実が　意味を持つのです。言語活動の充実は、コミュニケーションが重要な活動として定位しています。この活動を行うための能力育成が、実社会・実生活に生きるコミュニケーション能力の育成となるのです。

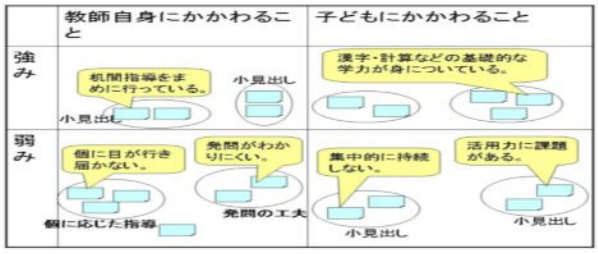
参考・引用教職研修2011年12月号「21世紀の教育ビジョン」
横浜国立大学教授　高木展郎

組織マネジメント講座資料より

＝SWOT分析の応用＝「日頃の授業の振り返り」として」

【手順】

1. 教師、子ども側から「強み」（プラスの要素）、「弱み」（マイナスの要素）から振り返り、付箋に記入します。
2. 4つのエリアに付箋を貼り、グループ化します。
3. できあがったシートで振り返り、自分の課題を確認します。
4. 自己課題解決のための具体的な方策を検討します。



参考・引用「総合教育センター「街路樹28号」より

知的障がいへの理解と対応について

発達障がいのある子どもの指導については第57号で触れましたが、今回は知的障がいへの理解と対応について考えます。

＝ 知的障がいのある子どもへの対応＝

1. 児童生徒の実態に応じて指導内容を組織・選択し、自立した社会生活をするための支援をする。
   ① 実用性の上に立った各教科
   ② 生活感・現実感をベースにした授業実践
   ③ 社会参加を指向する教育課程
   等により、子ども自身の主体的で自立的な態度を養う。
2. ポーテージ早期教育プログラムや心理検査等を活用して指導目標を定め、個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成により、指導の成果を上げる。

＝知的発達の遅れが境界域にある子どもへの対応＝

1. 児童生徒の実態把握（行動観察、心理検査等）をする。
   → 比例IQでは生活年齢の4分の3の精神発達の状態（偏差IQでは69）が就学指導の一つの目安。
2. 保護者の意見等を総合的に考えて、配慮できうる学習環境を整える。

個別に支援を要する 子どもたちの心のケアについて

「気づきのための視点」

① 学習・・・学力不振・一斉授業についていけない・読めない・逆さ文字・書くことに困難・計算苦手・文章問題苦手・図形問題が苦手・ものさしが使えない
② 生活・・・身辺整理ができない・落とし物が多い・忘れ物が多い
③ 行動・・・落ち着かない・多動・離席・反社会的行動・ルールが守れない、汚言をはく・手が出る
④ 情緒・・・感情に波がある・すぐかっとする・緘黙傾向チック・友達がいない・コミュニケーションがとれない
⑤ 言語・・・発音不明瞭・どもる
⑥ 登校・・・登校しぶり・欠席が多い・遅刻が多い
⑦ 健康・・・喘息・身体的持病・排尿、排便に問題がある夜尿がある・食物アレルギー・極端な不器用けがが多い・保健室によく行く

参考・引用「LD・ADHDなどの子どもへのアセスメント＆サポート」 高橋あつ子

受講生の感想

「SWOT分析で、外部・内部要因を分析することで、自校の課題、そして着手しやすいものかどうかを改めて考えることができた。」